



2008年(平成20年)

2月28日発行

Vol.④

志摩市応援倶楽部 志摩びとの会事務局

〒517-0592

三重県志摩市阿児町鶴方 3098-9 志摩市役所 企画政策課内

TEL: 0599-44-0205 FAX: 0599-44-5252

e-mail: shimabito@city.shima.lg.jp

HP: http://www.city.shima.mie.jp/shimabito

成人式に思う“郷土志摩への愛”

新年を迎えた1月13日、「合歓の郷(浜島町)」で平成20年志摩市成人式が挙行政され、晴れやかな表情の新成人558名が出席しました。

今回の成人式では、実行委員会から、「各地で活躍されている志摩市出身の緒先輩方からメッセージをいただけないだろうか？」という提案がなされ、志摩市出身の志摩びとの皆さんにご協力をお願いしたところ、全国各地、遠くはヨーロッパ・スイスの会員さんからもメッセージを送っていただくことがで

きました。

皆さんのメッセージには、新成人をお祝いすることばやエール、自身が抱いていた二十歳のころの志などとともに、「志摩出身者としての誇り」、「郷土志摩への愛」などが熱く綴られ、改めて会員の皆さんの志摩への思いを感じることができました。

志摩びととしての誇りとともに、新成人の皆さんが様々な分野で活躍し、志摩を思い続けてくれることを期待しています。

志摩びとの会 事務局

ご協力いただきました
会員の皆さん
ありがとうございました。



全国ラグビー大会全国制覇！！ 東福岡高校 谷崎重幸監督（磯部町出身）

(谷崎監督からのメッセージ)

「谷崎“優勝おめでとう”3年D組〇〇より」の葉書が届いたり、電話を頂いたり、約30年前にタイムスリップし、志摩の海・山・街並みが懐かしく思い浮かんできました。同窓会の写真の容姿の変貌ぶりには？・・・時の流れを深く感じました(笑)

妻を癌で亡くし、育児のために3年間ニュージーランドに移住。そこで感じた文化の違いに“常識は真理にあらず”と知り、新たな挑戦が始まりました。人生はプロセスを楽しむこと、つまり今を全力で真剣に取り組むこと。それは自分の持ち味・強みを100%発揮することで、人と関わり社会の中で生きる力を培うことでした。それを基にした個を生かすチーム創りが日本一の花を咲かせましたが、優勝翌日のミーティングボードには“咲いた花見て喜ぶならば、咲かせた根元の恩を知ろう”と生徒によって書かれていました。凄く嬉しかった！今あることへのお陰様での感謝と謙虚な心が導いてくれた真の日本一だったと思います。



【プロフィール】 ※写真は優勝インタビューの様子。右が谷崎監督 谷崎重幸(たにざきしげゆき) 東福岡高等学校教諭(ラグビー部監督) 1958年4月生 志摩市磯部町恵利原出身 志摩高校では選手としても花園へ出場。法政大学卒業後、東福岡高校の教諭となり、25年間監督を務め、18回の花園出場を果たす。

平成20年1月7日、近鉄花園ラグビー場。第87回全国高校ラグビー大会の決勝戦が行われ、東福岡高校が12対7で伏見工業高校(京都)を破り、4度目の決勝進出にして初の全国制覇を成し遂げました。

チームを指揮する谷崎重幸監督は、志摩市磯部町恵利原出身の志摩びとです。現役時代は地元志摩高校で花園の舞台を踏み、法政大学では司令塔として活躍。ニュージーランドでのコーチ留学の経験もあります。

今大会直前の昨年12月には、レギュラー選手のひとりをして列車事故で亡くし、大きな悲しみを抱えて望んだ中での全国制覇。様々な想いを胸に谷崎監督のラグビー人生は続きます。

英虞湾に生きた真珠王 ～ ミキモト多徳養殖場を訪ねて ～

現在まで一般公開されたことのない“ミキモト多徳養殖場(浜島町大崎半島)”。昨年9月に真円真珠100周年を記念し、特別観覧会が実施されました。

この多徳養殖場には、真珠王“御木本幸吉”の生前の住居であった「真寿閣(しんじゅかく)」、皇族や国内外からの賓客を迎えた「朝熊閣(あさまかく)」の他、御木本翁が初代局長を務めた多徳郵便局、警察官が駐在した六角堂などが今なおそのままのかたちで残されており、真珠養殖が盛んに行われ、養殖場一帯がひとつの町となっていた当時の様子がうかがえます。



真珠王の住まい「真寿閣」

真寿閣は英虞湾を望む素晴らしい景観をもつ高台にあり、晩年でここで過ごした御木本翁は、96歳の生涯を閉じるまで、望遠鏡で養殖場の作業を見下ろし、常に指導にあたっていたといえます。

また寝室の真上に位置する屋根には、真珠をかたどった瓦が置かれており、「御木本翁は寝る間も真珠のことを考えている」と言われていたそうです。

☞ 御木本翁はここでお茶を飲みながら養殖場を眺めたのでしょうか。ラジオなどの備品は当時御木本翁が使っていたものです。

数多の賓客を迎えた「朝熊閣」

この多徳養殖場、志摩という都心から遠く離れた地にありながら、真珠王“御木本幸吉”にひとめ会いたいと、数多の賓客が訪れたそうです。中には海外からの賓客も珍しくなく、御木本翁は志摩で生活しながらも、彼らを通じ当時の世界情勢を詳しく知り得たのです。

また、朝熊閣には昭和天皇がご使用になられた椅子も残されており、真珠王の偉大さを改めて感じることができます。



真円真珠100周年を記念して……

他にも志摩市では昨年、真円真珠100周年を記念して「円山公園の整備と記念碑の移設」、「東京銀座でのPRイベント」、「真珠デザインコンテストへの協賛」、「真珠シンポジウム・写真展の開催」など、様々な事業に取り組みました。

来たれ! 志摩びとの会

ふるさと応援寄付にご協力ください!

★志摩市ふるさと応援寄附条例を制定しました

志摩市では、この地域に暮らす人たちや他の地域に暮らしていても、絶えず「心のふるさと志摩」を思い、また志摩市の発展を願う人たちの熱き心を地域づくりに活かし、住民参加型の地方自治を進めるため、志摩市ふるさと応援寄附条例を制定しました。

★寄付金の運用目的を指定できます

いただいた寄付金の運用方法は、寄付していただいた方ご自身により、次の7項目からご指定できます。

- (1) 環境に関する事業
- (2) 生活・安全に関する事業
- (3) 産業の振興に関する事業
- (4) 健康・福祉に関する事業
- (5) 教育・文化に関する事業
- (6) まちづくりに関する事業
- (7) その他個別の指定事業



★申し込み方法

寄付金額は1口5,000円より。申請をいただいた方に振込用紙をお送りします。詳しくは企画政策課までご連絡ください。申請のない方に振込用紙等をお送りすることは一切ございませんので、ご注意ください。

【問い合わせ】

志摩市役所 企画政策課

TEL: 0599-44-0205

FAX: 0599-44-5252

e-mail:

kikakuseisaku@city.shima.lg.jp



隠れた志摩の逸品！！ ～森川さんと「志摩きんこ」づくり～

甘くて美味しい志摩の自然食『きんこ』

皆さんは志摩の隠れた逸品「きんこ」を知っていますか？原料となる隼人芋（ハヤトイモ）を煮て、天日干しで乾燥させた食品で、志摩地方では古くより子どもや海女さんのおやつ、漁船員の保存食として親しまれてきました。「きんこ」とは本来ナマコの乾燥品の名で、これにかたちや色が似ていることから「きんこ」と呼ばれるようになりました。

艶やかなべっこう色の美しさ、あっさりとした素朴な甘さ。志摩のお土産、贈答品として人気を集めています。



森川さんと「きんこ」づくり 一阿児町国府一

昭和48年、他県から志摩に移り、農業をはじめた森川まさるさん。原料である隼人芋の栽培をスタートするとともに、地域のおばあさんに知恵や技術を教えてもらいながら「きんこ」の加工にも取り組みました。その後、地元の女性にも声をかけ、「売れる「きんこ」」づくりを目指して、品質維持・向上などの研究を重ねてきました。その取り組みが認められ、平成18年には農林振興局長表彰「食アメニティコンテスト優良賞」を受賞。



現在も地元の子どものために芋づくり体験を実施するなど、地域の食文化を理解してもらうための取り組みを行いながら、最高品質の「きんこ」づくりに力を注いでいます。

「きんこ」づくりに励む森川さん（写真中央）と地域のみなさん。みなさんの笑顔とおそろいサンバイザーが素敵でした。

「きんこ」づくりに励む森川さん（写真中央）と地域のみなさん。みなさんの笑顔とおそろいサンバイザーが素敵でした。

志摩を“野球王国”に！！ 読売ジャイアンツ 大道典嘉選手

おおみちのりよし

新年1月7日、志摩市大王町船越出身で、現在は読売ジャイアンツでプレーする志摩びと“大道典嘉選手”が志摩市長を表敬訪問しました。大道選手は三重県明野高校を卒業後、1987年ドラフト4位で南海ホークスに入団。チーム名がダイエー、ソフトバンクとなった後も活躍を続け、この3球団で選手としてユニフォームを着たのは大道選手ただひとり。2007年からは読売ジャイアンツへ移籍し、対左投手のスペシャリストとして活躍中です。

大道選手は市長との話の中で、「志摩にも素質のある子はいる。私に続く第2、第3のプロ野球選手が生まれるよう、できる限りのことはしていきたい。“野球王国”を目指したい！」と力を込めて語ってくれました。また「私も志摩市を全国的にPRしていきたい。」と志摩市への応援のこぼもいただきました。

↓ 昨年のリーグ優勝を祝い竹内市長から花束が贈られました。



← 同日、ふるさと公園に野球教室も開催。大王町と小中学生を対象に、船越の屋内運動場。



古文書にみる江戸時代「難船とその始末」

志摩半島はリアス式海岸で天然の良港が多く、江戸時代後期に志摩の四箇津と呼ばれた鳥羽・安乗・浜島・越賀の他にも、的矢や小浜などがあり、江戸と大阪を結ぶ航路の中間点に位置していることから、「避難港」や「風待港」として大きく発展しました。中でも安乗港には、御城米役人や船問屋が置かれ回船の取り締まりや難船の処理などが行われていました。しかし、大王埼を中心とする志摩の沿岸には暗礁が多く、遠州灘や熊野灘とともに、海の難所といわれていました。そのため難船が多発し、海辺の地域には難船文書や記録が多数残されています。



×印は海難件数



ウェルネスリゾート 志摩ロードパーティ ハーフマラソン2008

2008

4.20 SUN

志摩スペイン村
10:00開会式

千葉ちゃんと走ろう♪

07大会のエントリー総数約4,800人。県内最大規模のマラソンイベント“志摩ロードパーティ”が今年も開催されます。ゲストには、志摩ロードパーティといえおなじみとなった“千葉ちゃん”こと千葉真子さんをお迎えします。最高のローケーションを、千葉ちゃんと一緒に走ってみませんか♪

みんなで楽しめる4つのコース！

07大会同様、志摩の海辺の景色にこだわった「ハーフ」・「10km」。志摩スペイン村を周回、大人から子どもまで雰囲気を楽しみながら走ることができる「パルケパーティラン（約3km）」の的矢湾を横切る渡し船を利用し、渡鹿野島を周遊する約1.1kmの「ウォーキング」。これら4つのコースから選択し、お楽しみいただけます。

楽しいイベントもいっぱい！

大会前日（4月19日）には、ランナーの皆さんをお迎えするパーティー「ウェルカムフェスタ」も開催。志摩の「食」と千葉真子さんのトークショーなどでお楽しみいただけます。

また、大会当日には伊勢志摩の海の幸や特産品が楽しめる「伊勢志摩物産市」も開かれます。

応募メキりは3月14日まで

詳しくは「大会ホームページ」又は「エントリーセンター」でご確認ください。

【エントリーセンター】
TEL：03-3714-7924
(平日 10:00～17:00)

<http://shima.roadparty.jp>



☆ 志摩びとが作家デビュー ☆

内田康夫ミステリー文学賞にて特別賞『浅見光彦賞』を受賞。元深夜放送のDJで、夫はタレントのきくち教児さん。志摩市阿児町出身の志摩びと「井上凛」さんが作家デビューしました。

『オルゴールメリーの残像』（文藝書房）

切なさのあとに、優しさとあたたかさにも包まれる短編集。志摩出身の著者ならではの、伊勢志摩が舞台の作品がひとつ収録されています。そのヒロインは実在する鳥羽の美人女将がモデル。地元の人なら「あの道、あの交差点、あの界限だ！」と鮮やかな情景が思い浮かぶことでしょう。



イベント歳時記

イベント名	開催日	開催場所
安乗の人形芝居	10月～3月 毎月第2土曜	安乗神社境内
賢島から始まる真珠のふるさと 英虞湾クルージング	2月～3月 毎日曜（要予約）	賢島港（10時発）
的矢かき感謝祭 朝市	3/1	的矢駐車場
絵かきの町・大王「第6回大王大賞展」 街角ギャラリー	3/1～3/16	大王地区内 宿泊施設及び商店等
横山さくらまつり	3/30・4/6	創造の森 横山
桜咲く、天の岩戸で茶屋開き	3/30	天の岩戸入口
国分寺花まつり	5/8	志摩国分寺

【イベントに関する問い合わせ】

志摩市観光協会
TEL：0599-46-0570 FAX：0599-46-1113